

プログラム

9月5日(金)

第1会場(1階 大ホール)

8:50～9:00 **開 会 式**

9:00～11:00 **シンポジウム1**

コーディネーター：樋口 進(独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター)
今成 知美(認定特定非営利活動法人 ASK)

座長：樋口 進(独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター)
今成 知美(認定特定非営利活動法人 ASK)

基本法制定から12年。今求められている次のステップ

S1-1 日本人の飲酒実態

～全国面接調査から見えてくるもの

○木村 充、新田 千枝、柴山 笑凜、古賀 佳樹、浦山 悠子、遠山 朋海、
松下 幸生
国立病院機構 久里浜医療センター

S1-2 SBIRTS の普及をめざして

～愛知アルコール連携医療研究会と依存症治療拠点機関の取り組みから～

○菅沼 直樹
医療法人成精会 刈谷病院

S1-3 アディクション治療に関連する診療報酬提案の現状

○宋 龍平
岡山県精神科医療センター 日本アルコール・アディクション医学会 医療保険委員会

S1-4 「依存症の親を持つ成人のヤングケアラー経験に関する実態調査」の 中間報告と第3期基本計画への政策提案

○稗田 里香¹⁾²⁾
1) 東京通信大学 人間福祉学部、
2) 認定 NPO 法人 ASK 副代表 アルコール健康障害対策関係者会議委員

S1-5

○米田 隆史
厚生労働省 障害保健福祉部 依存症対策室長

指定発言 アルコール健康障害対策基本法から12年
一広がった希望も、仲間の輪も…揺らぐ今こそ立ち上がる時—

○一杉 茂樹
(公社)静岡県断酒会 / 全日本断酒連盟

指定発言 AA(アルコホーリクス・アノニマス)50周年を迎えて：
AAについてと活動報告

○マナ AA 日本
AA(アルコホーリクス・アノニマス)

アルコール依存症における減酒治療の実際

SS-1 アルコール依存症の減酒治療 ～「がまん」から「よろこび」に変える～

○角南 隆史

地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館

SS-2 内科医の立場からの提案

○堀江 義則

医療法人社団慶洋会 ケイアイクリニック

13:20～14:20 **基調講演**

座長：比江島 誠人（医療法人横田会 向陽台病院）

一隅を照らす

～アフガニスタンで命を支えた中村哲～

村上 優

ペシャワール会 Peace (Japan) Medical Services NHO 花巻病院

14:30～16:30 **シンポジウム5**

コーディネーター：河西 有奈（白峰クリニック）

成瀬 暢也（埼玉県立精神医療センター）

座長：河西 有奈（白峰クリニック）

成瀬 暢也（埼玉県立精神医療センター）

指定発言：小川 嘉恵（埼玉県立精神医療センター）

武藤 岳夫（医療法人横田会 向陽台病院）

女性とアディクション

～生きづらさと痛みを超えて～

S5-1 回復施設の女性利用者がぶつかる様々な困難に寄り添って

○松尾 玲子

特定非営利活動法人 ジャパンマック ジャパンマック福岡吉塚事業所

S5-2 女性とアルコール依存症

○高尾 純子

社会福祉法人致知会 救護施設真和館

S5-3 女性とアディクション ～生きづらさと痛みを超えて～

○五十公野 理恵子

特定非営利活動法人ダルク女性ハウス

S5-4 女性支援の現場で今思うこと

○松永 佳子

NPO 法人 熊本どんぐり

S5-5 女性のアディクションと回復支援 ―男性支援者の立場から―

○小林 桜児

神奈川県立精神医療センター

16:40～18:10 **シンポジウム7**

コーディネーター：松下 幸生（独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター）

福田 貴博（医療法人見松会 あきやま病院）

座長：松下 幸生（独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター）

福田 貴博（医療法人見松会 あきやま病院）

アルコール関連問題学会の歴史と未来

S7-1 日本アルコール関連問題学会の歴史と課題

○樋口 進

独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター

S7-2 依存症診療の未来（内科および専門医療との連携）

○吉本 尚¹⁾²⁾

1) 筑波大学 健康ライフスタイル開発研究センター、

2) 筑波大学 医学医療系 地域総合診療医学

S7-3 依存症診療の未来 ～精神科医の立場から～

○福田 貴博

医療法人見松会 あきやま病院

S7-4 心理職の専門性を活かした依存症支援の実践と展望

○伊藤 満

独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター

S7-5 依存症支援における作業療法の未来 ～予防・再構築・社会的処方への展開～

○小砂 哲太郎

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター病院

S7-6 依存症診療の未来 ～この先も大切にしていきたいこと～

○村山 裕子

独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター

第2会場(2階 大会議室)

9:00～11:00

シンポジウム2

コーディネーター：熊谷 雅之(医療法人優なぎ会 雁の巣病院)

稲葉 宣行(医療法人優なぎ会 雁の巣病院)

座長：熊谷 雅之(医療法人優なぎ会 雁の巣病院)

吉本 尚(筑波大学 健康ライフスタイル開発研究センター)

飲酒運転ゼロへの挑戦：なぜなくなるのだろうか ～効果的なアプローチや取り組み、未来への展望～

S2-1 飲酒運転対策関連の研究にみる最近の動向

○岡村 和子

科学警察研究所

S2-2 アルコールインターロックによる家族介入と、その後

○杉本 哲也

東海電子株式会社

S2-3 飲酒運転被害者遺族として活動してきた14年を振り返る

○山本 美也子

NPO 法人はあとスペース

S2-4 飲酒運転への取り組みに関する効果検証

○吉本 尚¹⁾²⁾

1) 筑波大学 健康ライフスタイル開発研究センター、

2) 筑波大学 医学医療系 地域総合診療医学

指定発言 飲酒運転ゼロへの挑戦：なぜなくなるのだろうか

○熊谷 雅之

医療法人優なぎ会 雁の巣病院

12:10～13:20

総 会

14:30～16:30

ワークショップ1

コーディネーター：白坂 知彦(手稲溪仁会病院 精神保健科)

小松 知巳(沖縄協同病院リエゾンセンター)

そろそろ動機づけ面接(MI)を使えるようになろう！ ～入門ワークショップ～

白坂 知彦

手稲溪仁会病院 精神保健科

小松 知巳

沖縄協同病院リエゾンセンター

海野 順

三光病院

橋本 望

岡山県精神医療センター

常田 深雪

手稲溪仁会病院 精神保健科

コーディネーター：佐藤 嘉孝（地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター）

前田 大輝（医療法人見松会 あきやま病院）

座長：佐藤 嘉孝（地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター）

石丸 純大（医療法人要会 かなめクリニック）

指定発言：小林 桜児（神奈川県立精神医療センター）

届かないところへ届けたい依存症治療支援

S8-1 地域での依存症予防について

○前田 大輝

医療法人見松会 あきやま病院

S8-2 専門性だけでは届かない支援 ～チームで築く支援のかたち～

○幸地 睦子

医療法人タビック 沖縄リハビリテーションセンター病院

S8-3 臨床場面における届けたいのに届きづらい気持ちと支援

○青木 隆

医療法人寛容会 森口病院 回復リハビリ部

第3会場（2階 第5・6会議室）

コーディネーター：米山 奈奈子（秋田大学大学院 医学系研究科）

吉岡 幸子（学校法人橘心学園 幸手看護専門学校 保健学科）

座長：米山 奈奈子（秋田大学大学院 医学系研究科）

吉岡 幸子（学校法人橘心学園 幸手看護専門学校 保健学科）

保健師活動とアルコール健康障害対策

～保健師教育から地域ネットワークの構築まで～

S3-1 アルコール関連問題における地域ネットワーク形成について

○宮成 優子

平野区保健福祉センター

S3-2 アルコール健康障害対策を推進する保健師の力： 関係機関との連携による保健師教育の実践

○荒木 善光

熊本保健科学大学 公衆衛生看護学専攻科

S3-3 熊本市における精神保健福祉の取り組み

～当事者や家族との直接支援から見えた保健師活動について～

○森高 真美

熊本市 健康福祉局 障がい者支援部 こころの健康センター

コーディネーター：長 祥子（肥前精神医療センター）

川本 大輔（大分友愛病院）

小橋 真路（社会医療法人芳和会 菊陽病院）

座長：木村 直友（医療法人北仁会 幹メンタルクリニック）

事例検討を通して考える家族支援

～家族への対応とスタッフ教育の両側面に光をあてる～

山本 智之	くおーれ訪問看護ステーション
水田 孝	しんか訪問看護ステーション
藤岡 誠	社会医療法人杏和会 阪南病院
阿部 かおり	さいがた医療センター
古谷 真由美	東京足立病院
川瀬 貴司	各務原病院
田中 瑞樹	医療法人正雄会 呉みどりヶ丘病院

コーディネーター：前園 真毅（独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター）

稲葉 宣行（医療法人優なぎ会 雁の巣病院）

座長：前園 真毅（独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター）

稲葉 宣行（医療法人優なぎ会 雁の巣病院）

援助者の考える回復と当事者の考える回復について語り合う

～医療機関と非医療機関そして当事者組織からの発信～

S9-1 アルコール依存症の回復について考えるときに

○岡崎 直人

学校法人敬心学園 日本福祉教育専門学校 精神保健福祉士養成学科

S9-2 12ステップによる回復（霊的目覚め）

○岡田 昌之

特定非営利活動法人ジャパンマック

S9-3 熊本ダルクの取り組み・スポンサーシップ・12ステップの実践

○田邊 忠司

NPO 法人熊本 DARC 相談支援センター熊本ダルク

S9-4 援助者の当事者性

○上村 美幸

地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立精神医療センター

S9-5 プログラムと回復

○村上 幸大

社会医療法人芳和会 菊陽病院

夜間集会(オフ会):熊本で1年ぶりの再会!

吉本 尚 筑波大学 健康ライフスタイル開発研究センター長
稗田 里香 東京通信大学 人間福祉学部 教授

第4会場(2階 第7会議室)

9:00～11:00 シンポジウム4

コーディネーター: 常岡 俊昭(昭和医科大学烏山病院)

座長: 海野 順(三光病院)

常岡 俊昭(昭和医科大学烏山病院)

指定発言: 海野 順(三光病院)

山田 真理(昭和大学附属烏山病院)

依存症であることを武器に病院で働くこと

S4-1

○ 柚木 篤史
昭和大学附属烏山病院

S4-2 当事者兼支援者として臨床で働くこと

○ 出町 徹也
医療法人社団新新会 多摩あおば病院

S4-3 立場を開示するという選択 —“元・依存症家族”として現場に立つ

○ 古谷 真由美
医療法人財団厚生協会 東京足立病院

S4-4 ギャンブル依存症当事者が依存症専門病院への転職 ～医療の現場で挑戦の道を走り続ける濃密な2年半～

○ 佐伯 徹
医療法人社団光風会 三光病院 地域移行連携室

S4-5 アルコール依存症の薬剤師が担う回復プログラムへの貢献

○ 臼井 志乃
特定医療法人光風会 三光病院

コーディネーター：浦山 悠子（独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター）

座長：木村 充（独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター）

指定発言：松崎 尊信（独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター）

依存症と家族支援

S6-1 令和7年度アルコール関連問題をもつ人の家族の実態とニーズに関する調査

○遠山 朋海¹⁾、浦山 悠子¹⁾、柴山 笑凜¹⁾、古賀 佳樹¹⁾、新田 千枝¹⁾²⁾、
柴崎 萌未¹⁾、高橋 陽介¹⁾、前園 真毅¹⁾、松下 幸生¹⁾

1) 久里浜医療センター、2) 筑波大学医学医療系 地域総合診療医学

S6-2 ギャンブル障害の影響を受けた家族の回復と支援のあり方に関する研究

○土方 郁美¹⁾、森田 展彰²⁾

1) 茨城大学 教育学部 教育保健教室、2) 筑波大学 医学医療系

S6-3 アルコール依存症家族教室における家族支援

—支援の場にとどまってもらうための工夫—

○高橋 陽介¹⁾、浦山 悠子²⁾、高山 輝大¹⁾、鈴木 信芳¹⁾、加藤 一臣¹⁾、
前園 真毅¹⁾

1) 独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター 医療福祉相談室、

2) 独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター 臨床研究部

S6-4 アルコール依存症家族としての体験と回復への道のり

～家族会につながって～

○白井 明美¹⁾²⁾

1) 川崎断酒新生会 つばき家族会、2) パトリス家族会

S6-5 アルコール問題をもつ子どもが受ける当事者からの影響

～令和7年度アルコール家族調査より～

○浦山 悠子¹⁾、遠山 朋海¹⁾、柴山 笑凜¹⁾²⁾、古賀 佳樹¹⁾、新田 千枝¹⁾³⁾、
辻本 耐¹⁾⁴⁾、柴崎 萌未¹⁾、高橋 陽介¹⁾、前園 真毅¹⁾、松下 幸生¹⁾

1) 独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター、

2) 東京大学大学院教育学研究科附属 学校教育高度化・効果検証センター、

3) 筑波大学 医学医療系、4) 南山大学社会倫理研究所

9月6日(土)

第1会場(1階 大ホール)

9:00～11:00

シンポジウム10

コーディネーター：大平 洋明(宮崎大学医学部附属病院 精神科)

比江島 誠人(医療法人横田会 向陽台病院)

座長：大平 洋明(宮崎大学医学部附属病院 精神科)

比江島 誠人(医療法人横田会 向陽台病院)

指定発言：八尋 光秀(西新共同法律事務所)

教育×児相×医療×メディア

子どもをめぐるアディクションを考える

大会長講演

依存症専門医から児童精神科医へ

比江島 誠人 医療法人横田会 向陽台病院

S10-1 教育現場から見た子どものSOS

○田中 慎一郎

熊本市立出水南中学校

S10-2 アディクションの課題を抱える児童の支援：児童相談所の業務から経験すること

○佐藤 政子

東京都児童相談センター 治療指導課

S10-3 子どもをめぐるアディクション ―医療の視点から

○大平 洋明

宮崎大学医学部附属病院 精神科

S10-4 新しいメディアを使った、子供の依存症へのアプローチ

○岩永 直子

公益社団法人ギャンブル依存症問題を考える会 Addiction Report

11:10～12:10

特別講演

座長：村上 優(ペシャワール会)

ハンセン病問題の解決とともに

八尋 光秀

西新共同法律事務所

座長：松下 幸生（独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター）

LS1-1 内科などの一般医療機関でアルコール依存症に対応すること、
本当に可能なのですか？

～臨床経験と国内外のエビデンスから～

○吉本 尚¹⁾²⁾

- 1) 筑波大学 健康ライフスタイル開発研究センター、
- 2) 筑波大学 医学医療系 地域総合診療医学

LS1-2 「CureApp AUD 飲酒量低減治療補助アプリ」の開発、治験、保険適用、
そして臨床へ

○宋 龍平¹⁾²⁾

- 1) 岡山県精神科医療センター、2) 株式会社 CureApp

13:30～15:30 **シンポジウム14**

コーディネーター：三原 聡子（独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター）

座長：河西 有奈（医療法人秀山会 白峰クリニック）

三原 聡子（独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター）

児童思春期のアディクション

S14 子どものアディクション
～自傷とオーバードーズを中心に～

○松本 俊彦

国立精神・神経医療研究センター

パネラー：濱本 晋也¹⁾、花村 温子²⁾、常田 深雪³⁾、
河西 有奈⁴⁾、三原 聡子⁵⁾

- 1) 医療法人横田会 向陽台病院、
- 2) 独立行政法人地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター、
- 3) 医療法人湊仁会 手稲湊仁会病院、4) 医療法人秀山会 白峰クリニック、
- 5) 独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター

15:40～17:10 **市民公開講座**

コーディネーター：山下 陽三（社会医療法人 明和会医療福祉センター 渡辺病院）

比江島 誠人（医療法人横田会 向陽台病院）

回復者全員集合

17:40～18:00 **閉会式**

第2会場(2階 大会議室)

9:00～11:00

ワークショップ3

コーディネーター：角南 隆史(地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館)

座長：角南 隆史(地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館)

杠 岳文(筑後吉井こころホスピタル)

ブリーフ・インターベンション

WS3-1 わが国のBIの展開

～HAPPYからABCD、Ultra-BI等まで～

○真栄里 仁¹⁾、河合 麻衣子²⁾、櫻井 純子³⁾、角南 隆史⁴⁾、白坂 知彦⁵⁾、
手塚 幸雄⁶⁾、長嶺 紘子⁷⁾、福田 貴博⁸⁾、足達 淑子⁹⁾、杠 岳文¹⁰⁾

1)独立行政法人 国立病院機構 琉球病院、2)東京女子医科大学、3)湘南鎌倉医療大学、
4)佐賀県医療センター好生館、5)手稲溪仁会病院、6)沖縄リハビリテーションセンター病院、
7)トヨタ自動車株式会社、8)あきやま病院、9)あだち健康行動学研究所、
10)筑後吉井こころホスピタル

WS3-2 ABCDプログラムを用いたブリーフインターベンションの実践

○手塚 幸雄

医療法人タピック 沖縄リハビリテーションセンター病院

WS3-3 ロールプレイ・シナリオ概要：

津崎源さんの減酒支援における産業保健師との面接プロセス

○角南 隆史

地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館

WS3-4 ブリーフインターベンションの課題と未来

○杠 岳文

筑後吉井こころホスピタル

12:20～13:20

ランチョンセミナー2

共催：エーザイ株式会社

座長：武藤 岳夫(医療法人横田会 向陽台病院)

LS2 ベンゾジアゼピン受容体作動薬関連精神疾患の疫学と診療

—注意すべき3病態を中心に—

○宇佐美 貴士¹⁾²⁾

1)福岡県立精神医療センター太宰府病院、
2)国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部

コーディネーター：手塚 幸雄（沖縄リハビリテーションセンター病院）

座長：田中 和彦（日本福祉大学）

村上 幸大（菊陽病院）

みえる・つながる・癒される

「問題解決しない事例検討会」を活用した地域連携

S15-1 ようこそ！問題解決しない事例検討会へ

○中村 茜里¹⁾、西念 奈津江²⁾、田中 和彦³⁾、阿部 かおり⁴⁾、長友 博之⁵⁾、大越 拓郎⁶⁾、佐久間 みのり⁶⁾、福田 貴博⁷⁾、前田 大輝⁷⁾、植田 秀孝⁷⁾、山中 慎也⁸⁾、手塚 幸雄⁹⁾、幸地 睦子⁹⁾、入来 晃久¹⁰⁾、佐久間 寛之⁶⁾

1) 医療法人社団 岡部診療所、2) 北陸 HIV 情報センター、3) 日本福祉大学、

4) 独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター、

5) 合同会社まかちよーけ（エール総合事務所）、

6) 独立行政法人国立病院機構 さいがた医療センター、7) 医療法人見松会 あきやま病院、

8) 医療法人建悠会 吉田病院、9) 医療法人タビック 沖縄リハビリテーションセンター病院、

10) 地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪精神医療センター

S15-2 滋賀県における「問題解決しない事例検討会」の取組 ～支援者をほぐす「ケア」、自分たちで実践しよう！～

○栗林 悦子

滋賀県立精神保健福祉センター

S15-3 「問題解決しない事例検討会」を活用したネットワークによる地域連携 ～長崎県での実践報告～

○大野原 尚哉¹⁾、西念 奈津江²⁾、田中 和彦³⁾、阿部 かおり⁴⁾、杉浦 真由美⁵⁾、大越 拓郎⁶⁾、佐久間 みのり⁶⁾、福田 貴博¹⁾、前田 大輝¹⁾、植田 秀孝¹⁾、幸地 睦子⁷⁾、山中 慎也⁸⁾、中村 茜里⁹⁾、伊東 寛哲¹⁰⁾、佐久間 寛之⁶⁾

1) 医療法人見松会 あきやま病院、2) 北陸 HIV センター、3) 日本福祉大学、

4) 独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター、5) 北海道大学、

6) 独立行政法人国立病院機構 さいがた医療センター、

7) 医療法人 沖縄リハビリテーションセンター病院、8) 医療法人建悠会 吉田病院、

9) 医療法人社団 岡部診療所、10) なし

S15-4 「問題解決しない事例検討会」 沖縄県での実践報告

○長友 博之¹⁾、手塚 幸雄²⁾、幸地 睦子²⁾、石川 章旗²⁾、杉浦 彩乃²⁾

1) 合同会社まかちよーけ（エール総合事務所）、2) 沖縄リハビリテーションセンター病院

S15-5 NPO 法人ポピンズくまもとで実践する『問題解決しない事例検討会』

○馬本 春美

NPO 法人ポピンズくまもと

コーディネーター：三原 聡子（独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター）

座長：樋口 進（独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター）

ネット・ゲーム依存をめぐる最近の課題と対応について

S18-1 SNS への依存

○三原 聡子

独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター

S18-2 デジタルデトックスと治療

～おふらいんきゃんぷ@くまもとの取り組み～

○辻 翔太

医療法人横田会 向陽台病院

S18-3 ゲーム行動症の疫学について

○松崎 尊信¹⁾、古賀 佳樹²⁾、三原 聡子¹⁾、北湯口 孝¹⁾、樋口 進¹⁾

1) 国立病院機構 久里浜医療センター 精神科、

2) 国立病院機構 久里浜医療センター 臨床研究部

S18-4 神経発達症を中心としたネット・ゲーム依存の精神科併存症について

○館農 勝

さっぽろ悠心の郷 ときわ病院

S18-5 ネット・ゲーム依存の治療と新たな課題

○樋口 進

独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター

第3会場（2階 第5・6会議室）

コーディネーター：新井 清美（信州大学）

鶴身 孝介（京都大学大学院 医学研究科 脳病態生理学講座（精神医学））

座長：新井 清美（信州大学）

鶴身 孝介（京都大学大学院 医学研究科 脳病態生理学講座（精神医学））

法とのはざまにある行動嗜癖に光を当てる

～薬物依存との対比～

S11-1 法とのはざまにある行動嗜癖の連続性のある地域連携について

○岡田 昌之

特定非営利活動法人ジャパンマック

S11-2 法とのはざまにある行動嗜癖についての報告と課題について

○末永 直美

特定非営利活動法人ジャパンマック

S11-3 当事者への調査から見えること

○新井 清美、近藤 協子

信州大学

S11-4 法とのはざまにある行動嗜癖の現在地

○鶴身 孝介

京都大学大学院 医学研究科 脳病態生理学講座(精神医学)

13:30～15:30 産業医研修

コーディネーター：吉本 尚(筑波大学 健康ライフスタイル開発研究センター)

菊地 亜矢子(筑波大学 健康ライフスタイル開発研究センター)

座長：吉本 尚(筑波大学 健康ライフスタイル開発研究センター)

職場のアルコール健康障害対策・アルコールの問題を抱える 従業員への支援

1 職域でのアルコール健康障害対策に関する実態調査からみえてきた課題

○菊地 亜矢子¹⁾、西浦 千尋²⁾³⁾、朴峠 周子¹⁾、吉本 尚¹⁾³⁾

1)筑波大学 健康ライフスタイル開発研究センター、2)ラビタ合同会社、

3)筑波大学 医学医療系 地域総合診療医学

2 職場のアルコール健康障害対策・アルコールの問題を抱える従業員への支援 ～職域からみた SBIRTS

○伊東 明雅

朝日新聞社 コーポレート本部 労務部(健康管理)

3 酒類事業者としての職場のアルコール問題発生予防に対する取り組み

○串尾 聡之、中村 彰宏、森 一将

三和酒類株式会社 三和研究所

4 弊社で実施した複数部署間で連携した取り組みのご紹介

○長嶺 紘子

トヨタ自動車株式会社

コーディネーター：島内 理恵（高知大学／NPO 法人ひとしゅが）

座長：島内 理恵（高知大学／NPO 法人ひとしゅが）

片下 きよみ（医療法人社団光風会 三光病院／NPO 法人ひとしゅが）

依存症の啓発

—新しい依存症啓発の流れ—

S19-1 それはAKKこうちから始まった

—NPO 法人AKKこうちの歴史と活動—

○二神 啓通¹⁾²⁾⁴⁾⁵⁾、島内 理恵¹⁾³⁾⁴⁾、秋永 恭良¹⁾⁴⁾⁵⁾、小松 重洋¹⁾⁴⁾⁵⁾、
橋本 和明¹⁾⁵⁾、深瀬 雪子¹⁾⁶⁾、山本 修¹⁾⁵⁾、朝比奈 寛正¹⁾⁷⁾、石田 正之¹⁾⁸⁾

1)NPO 法人AKK こうち、2)高知生協病院、3)高知大学、4)NPO 法人ひとしゅが、
5)NPO 法人高知県断酒連合会、6)地域活動支援センターぐらっぷる、7)県立広島大学、
8)医療法人須藤会 土佐病院

S19-2 「空と海とボクのココロ」全国へ

～NPO 法人ひとしゅがの誕生～

○片下 きよみ¹⁾¹⁰⁾、片下 哲二¹⁾¹⁰⁾、秋永 恭良¹⁾²⁾³⁾、島内 理恵¹⁾²⁾⁸⁾、
二神 啓通¹⁾²⁾³⁾⁹⁾、小松 重洋¹⁾²⁾³⁾、海野 順¹⁾¹⁰⁾、高森 泉¹⁾⁴⁾、畑瀬 有里¹⁾⁴⁾、
山本 津子¹⁾⁵⁾、栗山 一郎¹⁾⁶⁾、南 重純¹⁾⁶⁾、今村 典子¹⁾⁷⁾

1)NPO 法人ひとしゅが、2)NPO 法人AKK こうち、3)高知県断酒連合会、
4)岡山県津山断酒新生会家族会 結の華、5)香川県断酒会、6)京都府断酒平安会、
7)山梨県断酒会、8)高知大学、9)高知医療生協病院、10)医療法人社団光風会 三光病院

S19-3 ヒーローによる啓発

—アディクション仮面の誕生—

○島内 理恵¹⁾¹⁰⁾、秋永 恭良¹⁾²⁾、小松 重洋¹⁾²⁾、二神 啓通¹⁾²⁾、栗山 一郎¹⁾³⁾、
畑瀬 有里¹⁾⁴⁾、清水 明¹⁾⁵⁾、今村 典子¹⁾⁶⁾、片下 きよみ¹⁾⁹⁾、片下 哲二¹⁾⁹⁾、
中舛 博達¹⁾⁸⁾、芳野 裕俊¹⁾⁸⁾、齊藤 貞雄¹⁾⁷⁾

1)NPO 法人ひとしゅが、2)高知県断酒連合会、3)京都府断酒平安会、
4)岡山県津山断酒新生会家族会 結の華、5)東京立川断酒新生会、6)山梨県断酒会、
7)大和つくし断酒会、8)医療法人正雄会 呉みどりヶ丘病院、
9)医療法人社団光風会 三光病院、10)高知大学

S19-4 九州初開催！空と海とボクのココロ in 長崎

○森永 健司¹⁾、植田 秀孝¹⁾²⁾、円能寺 哲¹⁾²⁾、大野原 尚哉¹⁾²⁾、福田 貴博¹⁾²⁾、
前田 大樹¹⁾²⁾、森永 ゆみ¹⁾

1)NPO 法人ひとしゅが、2)医療法人見松会 あきやま病院

コーディネーター：吉田 精次(社会医療法人あいざと会 藍里病院)

座長：佐藤 周(滋賀県立精神医療センター)

井上 麻由(社会医療法人あいざと会 藍里病院)

CRAFT を用いた家族支援

S12-1 CRAFT 導入による家族教室の改善と効果 ～静岡市こころの健康センターの取り組み～

○鹿子 恵美¹⁾、笹原 奈央²⁾、乗松 彩乃¹⁾、小野田 きよ子¹⁾、原野 友美¹⁾、
大久保 聡子¹⁾

1) 静岡市 保健福祉長寿局 保健衛生医療部 こころの健康センター、
2) 静岡市 葵福祉事務所 子育て支援課

S12-2 公的機関の家族相談における CRAFT の活用

○入交 洋彦、宮内 砂緒里、政木 舞子、田岡 聡、横田 智穂、山崎 正雄
高知県立精神保健福祉センター

S12-3 協働から生まれる CRAFT 実践 ー沖縄における家族支援のこれまでとこれから

○新垣 真梨子、山田 豊
医療法人タビック沖縄リハビリテーションセンター病院

S12-4 当院での CRAFT

○湊 綾美
社会医療法人あいざと会 藍里病院

S12-5 CRAFT にもらった支援の背骨

○松前 香里¹⁾²⁾
1) 竹下粧子クリニック、2) 大分県こころとからだの相談支援センター

S12-6 行動嗜癖における CRAFT の活用の仕方

○吉田 精次
社会医療法人あいざと会 藍里病院

コーディネーター：成瀬 暢也（埼玉県立精神医療センター）

座長：佐久間 寛之（独立行政法人国立病院機構 さいがた医療センター）

市川 岳仁（特定非営利活動法人三重ダルク）

日本のアディクション関係者、モンゴルへ飛ぶ —アノニミティがつなぐ国際ネットワーク—

S16-1 自助グループメンバーがつかない国境を越えた信頼の架け橋 ～モンゴルの薬物依存者支援を通して～

○成瀬 暢也

埼玉県立精神医療センター

S16-2

○Masaru

モンゴル在住

S16-3 モンゴル

○幸田 実

東京ダルク

S16-4 モンゴルの現状と、そこで感じたこと

○五十公野 理恵子

ダルク女性ハウス

S16-5 依存者を栄養士としてサポートする

○鈴木 かなよ

三重ダルク

S16-6 モンゴルにおける依存症支援活動

○中川 賀雅

長崎ダルク

S16-7 回復を手渡す

○松尾 周

佐賀ダルク

S16-8

○横山 順一

ワーカーズホーム

S16-9 モンゴルで活動する私たちを結ぶ「ロマン」と「匿名性」

○市川 岳仁

特定非営利活動法人三重ダルク

コーディネーター：渡邊 洋次郎(特定非営利活動法人 いちこの会)

座長：森田 展彰(筑波大学 医学医療系)

リカバリーハイスクールの実践に学ぶ
—若年層のアディクションからの回復支援と教育の役割

S13-1 若年層の薬物・アルコール問題への支援に関する実践者の認識
—関心を持つ特定層への探索的アンケート調査

○大村 美保
筑波大学 人間系

S13-2 リカバリーハイスクールの実践に学ぶ
—若年層のアディクションからの回復支援と教育の役割

○鈴木 葉菜、渡邊 洋次郎、大村 美保、森田 展彰、白井 千晶、朝日 華子
筑波大学 人間総合科学研究群 障害科学学位プログラム

S13-3 リカバリーハイスクールを皆さんに知ってもらう試みとして

○渡邊 洋次郎¹⁾、大村 美保²⁾、鈴木 葉菜³⁾
1) 特定非営利活動法人 いちこの会、2) 筑波大学人間系、
3) 筑波大学人間総合科学学術院障害科学学位プログラム博士前期課程

指定発言 リカバリーハイスクールとキャンパスリカバリー・プログラムの意義

○白井 千晶
静岡大学 人文社会科学部 社会学科(社会学)

指定発言 リカバリーハイスクールの実践に学ぶ

○朝日 華子
特定非営利活動法人 茨城居場所研究会

コーディネーター：杠 岳文(筑後吉井こころホスピタル)

座長：樋口 進(独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター)

杠 岳文(筑後吉井こころホスピタル)

アルコール使用症の治療：断酒と減酒

S17-1 断酒が必要なケースでの減酒治療について

○和気 浩三
医療法人和気会 新生会病院

S17-2 未定

○高島 伸一郎
佐賀県断酒連合会

S17-3 未定

○高島 美保
就労支援事業所ワンディ 生活支援員

S17-4 都市部の専門クリニックにおける断酒治療と減酒治療

○倉持 穰
医療法人社団四季の会 さくらの木クリニック秋葉原

S17-5 断酒と減酒：軽症例についての考察

○福田 貴博
医療法人見松会 あきやま病院